

2. 佐渡島の地史と自然資源の魅力 地史と景観からはじめる4つの体験プログラム

2-1 隆起によってできあがった島

財団法人佐渡博物館でインストラクターから佐渡島の成り立ちの話を聞きます。

化石の見本などを見学した上で、沢根質場の海岸付近で地層を見学し、貝化石を探します。

■財団法人佐渡博物館

古い歴史を持つ佐渡。その佐渡の成り立ちを示す岩石や化石。そして大いなる海と豊かな自然にはぐくまれた動植物と海洋生物。縄文時代から古代へとつながる考古学上の遺跡。さらには歴史上、多くの貴人、文化人が流され独自の文化を育てた佐渡。そして桃山から江戸時代にかけてわが国の財政の源となった金銀山の開発など。佐渡の持つ貴重な自然、風土、考古、歴史、美術、芸能などの資料を総合的に収集、紹介する総合博物館です。

所在地 佐渡市八幡2041

TEL 0259-52-2447 FAX 0259-52-2447

入館料 一般700円 高校生500円 中学生400円 小学生200円

団体…20名以上1割引、100名以上2割引、300名以上3割引

開館時間 8:00~17:00 (4/1~10/31) 8:30~16:00 (11/1~3/31)

休館日 年末無休

■沢根質場での化石堀

沢根町周辺では、沢根質場で地層とともに貝化石などを見ることができます。そのほか、周辺の川などでも貝化石を採取することができます。インストラクターの指示に従って貝化石の採取をしましょう。

その際、周辺の地形や地層などを通じて、地質的な歴史の長さや壮大な地質活動について感じさせることが大切です。

化石堀に必要なもの:長靴、タオル、ふるい、新聞紙(取ったものを広げる)、図鑑

所要時間 博物館1時間、地質見学と化石堀2時間(3時間)

■沢根質場

沢根質場バス停から歩いて海岸に出ると、大きな崖があります。ここは、昔から貝の化石が多く見つかることで知られている場所です。この崖は種類の違う地層が重なっていて、大昔に海の底だったのが、海面の変化で陸地になったと考えられます。

ロウバイガイ、エゾサンショウガイ、ムギガイなど、たくさんの種類の貝の化石が見つかります。地層によって貝が生息していた環境が違うので、化石が見つかったら、図鑑やインターネットなどで、その貝の生息環境などを調べてみましょう。



プログラム5の「農産漁村の暮らしと自然」で海岸での活動を行う際に、海岸での貝拾いや、貝類を食事で提供する場合など、本プログラムと関連づけることが可能です。

■ねらい

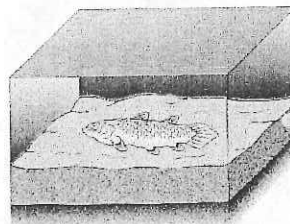
佐渡島は、少なくとも今から1600万年前には、島として日本列島からも独立していたと考えられています。その後、およそ200万年前ころには、海底の地盤が東西に縮まる動きが起こり、そのエネルギーで地面が隆起し、国中平野をはさんで、大佐渡山地と小佐渡丘陵ができあがりました。現在の佐渡島の地形はほぼこの頃にできたと考えられます。

日本列島と1600万年に渡って分かれていたことから、佐渡だけの固有種が進化することになります。

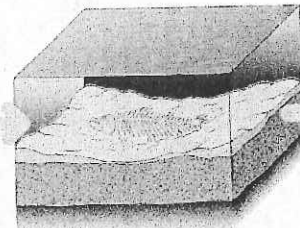
また、この大佐渡山地と小佐渡丘陵によって島の東西南北、国中平野では雪の降り方が異なるなどの環境的な特徴が生まれます。後述する大佐渡山地の植物の山頂効果も、佐渡島の地形なしには語れません。

その地形は、地質的時間によって変化していくこと、その中で過去にも生物がいたこと（貝化石）、生物の長い歴史と進化の過程に今の生物多様性があること、広大な時間の流れ、自然の雄大さ、時間の不思議さについて子どもたちが楽しく感じられるような「化石掘り」プログラムです。

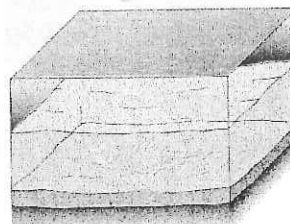
化石のてき方



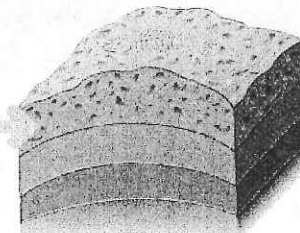
生きものが死んで、水底に沈んだり、水辺に流れ着いたりします。



ほかの動物に食べられたり、微生物に分解されたりします。



砂や泥に埋もれて閉じ込められ、長い年月をかけて、鉱物になります。



海面の変化や隆起で、地層が陸上に出て、化石があらわれます。